別紙様式第１　様式２

個票 ①

（令和6年度補正分）　地域少子化対策重点推進交付金　実施計画書　（市町村分）　個票

自治体名	長崎県西海市
本事業の担当部局名	保健福祉部こども家庭課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業				
区分	重点メニュー				
関連事業メニュー	1_2_2 若い世代の描くライフデザイン支援				
個別事業名	西海市乳幼児ふれあい体験事業			新規／継続（一般財源での実施も含む）	継続
実施期間	交付決定日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	平成27年度
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通 乳幼児ふれあい体験事業を通じて、高校生に育児の実体験や当事者の生の声を届けることで、育児を身近に捉える機会を提供し、子供を産み育てたいと考える場を設定してきた。 体験後の高校生は育児に対する肯定的な思いを聞くことができた一方で、市の婚姻数や出生数の伸び悩む状況である。 本市は2つの中核市に隣接する市であるため、少子化対策の施策次第では子育て世帯を呼び込める立地条件を兼ねそろえているので、事業を拡大し機運醸成を図る。 ＜本個別事業の位置付け＞ 本市では、男女共同参画の基本理念のもと、高校生等が結婚や子育てなど将来の生活設計に関して考えるきっかけづくりのために、乳幼児と触れ合う機会を確保する取り組みを推進している。 高校生が乳幼児と触れ合い、子育て中の父母と意見交換をしてもらうことにより、結婚や育児に対する前向きな意欲を醸成することを目的に、市内3校の家庭科の授業で本事業を実施するもの。				

個別事業の内容	番号	項目	内容
	1	事業の活用促進に向けた情報発信	ホームページや母子モ、広報誌への掲載、保育園へチラシを配布、西海市独自のアプリ「Baby ぐっど」や公式LINEを活用し本事業の周知を図る。
	2	乳幼児ふれあい体験の実施	【取組内容】 ・市内3高校（1年生を対象に、家庭科の授業の一環で実施） ・高校生に、当日乳幼児へ渡すためのおもちゃ（プレゼント品）を作成してもらい、交流の中で配布。 ・子育て中の父母と高校生との意見交換 ・生徒へのワークショップ(子育てに関する考えなど)
	3	参加者（高校生・保護者）を対象にアンケートを実施	事業実施前と後でアンケートを実施し、育児に対する心境の変化があるかを把握する
	＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組（ステップアップ）＞ ・ワークショップにおいて生徒の子育てに関する考え方のまとめ作業に時間がかかるなどしたため、事前に記入できるところは前もって記入するほか、一連の実施の流れの中で滞る部分がないか点検し、改善して実施する。 ・高校生を複数のグループに分け乳幼児を振り分けているが、班によって年齢配分にばらつきがあるため、均等に振り分ける。 ・本事業に参加した保護者からは、「遊ぶおもちゃが少なかった」、「時間が短かった」等の意見があったため、令和7年度はこれらを改善できるよう、高校側と協議しながら本事業を実施していきたい。		

	KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	子育て支援の満足度	%	80	36
	婚姻件数	件	100	74

	項目	単位	直近の実績値(時点)
参考指標 ※全事業共通	合計特殊出生率		3 (R4年)
	婚姻件数	件	74 (R4年)
	婚姻率		1.73 (R4年)

	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	実施回数	回	3	2
	②	参加生徒数	人	100	64
	③	参加親子組数	組	60	41
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100	93
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	乳幼児とのふれあいによって、乳幼児に親しみを感じた参加者の割合	%	90	89
	⑤	人生設計について考えるきっかけとなった参加者の割合	%	90	90
	⑥	命の大切さや子育てへの理解が深まったと答えた参加者の割合	%	80	73
	⑦				
	⑧				